

2019年度

リカレント講座のお知らせ

高知県立大学・高知県教育センター共催



今年も、県教育センターと共催で講座を開講します！

高知県立大学文化学部では、県教育センターが実施する「令和元年度教職員等研修」における「教科等の共催講座」として、リカレント講座を開講します。主に現職教諭のみなさまを対象としており、「学習指導力」の育成を目指した講座になっております。今年度は5講座開講され、大学での研究成果を生かした「授業実践・改善力」「専門性探求力」をつけることができる内容となっております。対象校種は、小中義高特・他となっており、対象者であれば誰でも受講することができます。

県立大学教員の専門分野から5つの講座が開講されます



1

「民権自由論」
精読

研修番号 247



2

企業城下町
とは何か

研修番号 248



3

もう一度
『論語』

研修番号 249



4

民主主義につ
いて考える

研修番号 250



5

英語音声の理
解と教材開発

研修番号 251

講座内容

*お申し込みは、県教育センター「**教職員研修管理システム**」をご利用ください。

もう一度『論語』

7月29日(月)

高西 成介 (中国文学)

漢文の基本を再確認し、教材研究につなげる。

近年は小学校の教科書にも取り上げられる『論語』ですが、改めて読んでみませんか?本研修では、もう一度『論語』をめぐる基本的な事柄を整理し、その上で代表的な章句を原文でみなさんと一緒に読んでみたいと思います。

企業城下町とは何か

8月2日(金)

宇都宮 千穂 (地域経済学)

日本社会、日本経済を考えると、企業と地域の関係を無視することはできません。その関係を典型的に表すのが「企業城下町」です。企業城下町の分析を行い、企業城下町の功罪を明らかにしていきます。

まず、「企業城下町」について、研究対象としてのおもしろさを説明します。そのうえで、企業城下町の事例紹介をします。その際、スライド・配付資料を使います。企業活動、暮らし、文化、様々な視点から「企業城下町」をとらえていきます。

『民権自由論』精読 [植木枝盛とその時代(6)]

8月5日(月)

ヨース・ジョエル (日本思想史)

植木枝盛『民権自由論』を精読。その意図、その趣旨、その読者層について考察しながら、明治期の高知を代表する執筆家植木枝盛の思想の世界を知る。

明治12年に出版された「民権自由論」は、植木枝盛の著作の中で最も売れたものとされる。彼は誰に呼びかけ、何を説いていたかを読み解いていく。一次資料を通して明治の人々の考え方に触れ、そのエネルギーを肌で感じる。

英語音声の理解と教材開発-中学校英語教科書を素材として-

8月7日(水)

五百藏 高浩 (英語学・英語教育学)

外国語科(英語)における指導の素地となる英語音声学の基礎知識を学び直すとともに、教科書に沿った音声教材を自作するスキルを習得する。

講義の際に使用するのは中学校用検定済教科書を予定していますが、中学校段階に限定する内容ではありません。

民主主義について考える

8月8日(木)

清水 直樹 (政治学)

政治学の研究成果を踏まえつつ、民主主義のメリット・デメリット、構成する制度(選挙制度や執政制度)に関する理解を深める。

民主主義のメリット・デメリット、構成する制度(選挙制度や執政制度)について検討します。話題提供とディスカッションを中心に進めていきたいと考えています。資料は配付せず、スライドを用いて進めていく予定です。